

森友公文書改ざん 財務省が認める 国会を欺く暴挙 安倍内閣総辞職を！

3月19日(月)ブロックいっせい宣伝を成功させよう

森友公文書改ざんを財務省が認め、いよいよ安倍内閣の総辞職を求めるたかいたが重要になってきました。10日は、本村伸子衆院議員、島津幸広前衆院議員がそれぞれ緊急街頭宣伝に参加。11日以降も各県で連日宣伝が取り組まれています。

党静岡県委員会は10日、静岡市内で島津前議員、鈴木ちか参院選挙区候補、山村糸子県委員長を先頭に街頭で訴え。島津氏は、「働き方改革」ではデータをねつ造、そして、こんどは文書の改ざん。こん

なことがまかり通る政治ではない。安倍首相にきつちり責任を取らせなければなりません」と訴え。短時間に26人の方が「赤旗」宣伝紙を受け取ってくれました。
党愛知県委員会は10日夜、名古屋市内で本村議員、すやま初美参院選挙区候補を先頭に訴え。本村氏らは「佐川氏の辞任での幕引きは、絶対に許されません。国会と国民をあざむき続けてきた安倍政権こそ、責任を取らなければなりません」と訴えました。
三重県津市では12日、津駅前、中川民英参院選挙区候補、岡野恵美県議、滝勝弘市議らが「森友文書改ざん問題の徹底究明を訴えました。」鈴木静岡選挙区候補は13日も革新懇の昼休み宣伝で訴えました。

「原発ゼロ」各地で

なくす静岡の会代表)は「原発事故は、東海地震の震源域の真上にある浜岡原発がある静岡県は人ごとではない。再稼働を許さず、廃炉にしよう」と訴えました。

津市

三重県津市では11日、「さようなら原発三重パレード」が行われ、これに先立つ集会には1000人が参加し、大台町在住の元宇宙飛行士の秋山豊寛さんが、福島で原発事故にあい、「原発難民」になった体験などを語り、「核兵器も、原発もいらない」とゲストスピーチしました。

岐阜市

岐阜市では11日、「さようなら原発パレード」が行われ、250人が参加しました。主催者の伊藤久司実行委員長は「原発のない安全な暮らしのために原発ゼロ法を成立させよう」とあいさつしました。

静岡市

葵区では10日、「福島を忘れないメモリアルアクション」が開かれ、島津幸広前衆院議員は、「野党4党で原発ゼロ法案を国会に提出した。原発ゼロへ市民と野党の共闘に全力を挙げる」と訴えました。実行委員長の林克氏(原発

名古屋市

栄では11日、「原発ゼロナゴヤアクション」が開かれ、400人が参加、本村伸子衆院議員、すやま初美参院選挙区候補らも参加。政党ではほかに立憲民主党の近藤昭一、吉田統彦両衆院議員、社民党の平山良平県連副代表、自由党の田中良典県連代表が参加し、連帯のあいさつをしました。

福島県伊達市から避難してきた岡本早苗さんは「私たちの願いは、命と健康が守られる、普通の暮らしを取り戻すことです」と訴えました。

